



ほほえみ

2024.7.1
(令和6年7月1日)

第206号

大竹市社協だより・大竹市民児協だより合併号

72歳からの挑戦

何歳であろうが焦らず、怖がらず挑戦心をもって決意を新たに前進するかは大きな分かれ道。

私は7年前に脳梗塞になり入院した。幸い後遺症はないが年相応に膝、腰痛などガタはある。

それでも「人生は一度きり」もう一度何か挑戦してやろうと思い、72歳で少林寺拳法入門を選んだ。それから3年、私は75歳で初段(黒帯)に合格した。

やればできる！



見越 幸一さん(76)

ふれあいネットワーク

愛ちゃんと希望くん



この広報紙は共同募金(赤い羽根)配分金を受けて発行しています。

大竹市社協訪問介護事業所 登録ヘルパー募集

応募資格 介護職員初任者研修・ヘルパー2級以上

賃金 1,200円～1,800円/時間

働きたいけど不安。

興味はあるが迷っている方、一緒に働きませんか？

実技指導、同行訪問で安心して働けます。



※資格がないけど働きたい方

人材育成として、「介護職員初任者研修」の資格取得を支援します。

支援金 上限3万円

資格取得後3年以上、大竹市社協訪問介護事業所でヘルパーとして

勤務していただける方が対象です。

連絡先 (0827)52-2227 大竹市社協訪問介護事業所 森本

QRコードを読み取ると、ちゅピCOM番組『優男がゆく』の

「社協ヘルパーさんに密着」の放送回が視聴可能です。

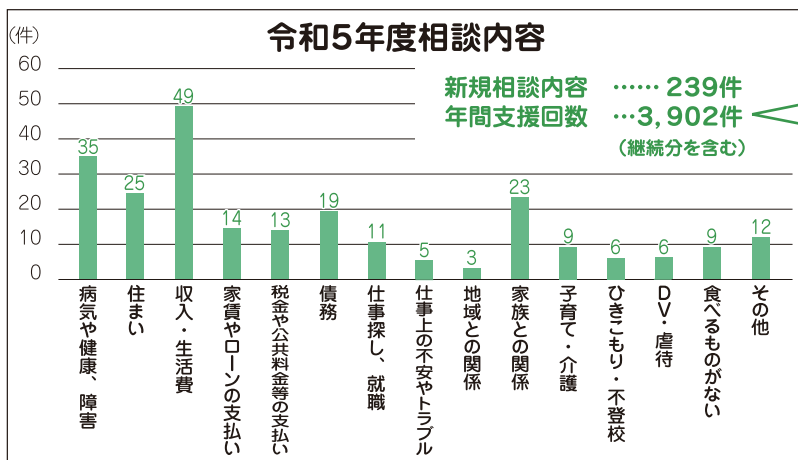
ヘルパーの仕事内容を動画で紹介していますので、ぜひご覧ください。



よりそいサポートセンターです！ひとりで悩まず、ご相談ください。

生活の不安や悩みごとを、ひとりで抱えていませんか。「どこに何を相談したらいいのかわからない…」多くの場合「困っていること」は一つではありません。よりそいサポートセンターでは、時間をかけてお話をうかがいながら、一緒に課題を整理します。一つひとつの困りごとを解決するために、市の担当課や専門機関と連携しながら、相談者に寄り添った支援を行います。

相談は、電話またはメールでも受け付けています。ご自宅等へ訪問することもできます。



1件あたり複数の課題を抱えている複合困難ケースが多くありました。解決までに長い期間を要するため、支援延べ回数は増加しています。



【相談・問い合わせ】

総務課 よりそいサポートセンター

TEL (0827) 35-5300

メール yoriso@otake-shakyo.or.jp

いつでも声をかけてください。
お待ちしております♪



こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



「元気になる講座」

元気になる講座3回シリーズを各地域で展開中です。
 これは認知症講座、骨粗しょう症講座、よろず相談所の3本立てで同じ地区で行う、介護予防のイベントです。
 令和6年3月から、コミュニティサロン栄町、三ツ石会館を皮切りに、5月は御園台自治会館で実施しました。ご希望があればどの地域でも伺いますので、まずはご相談ください。

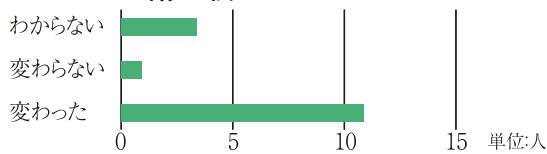


よろず相談所

大竹市多職種連携協議会の会員である専門職が各地域を訪問し、健康・介護・生活・住まいのことなどについてのミニ講座や相談会を行っています。
 医師や薬剤師などによるミニ講座もあります。



認知症に対する考え方は変わりましたか？ 講座後のアンケート



認知症講座後に行った参加者アンケートでは

- 😊 自分のこととして考えられた
- 😊 予防法が知りたい

などたくさんのコメントをいただきました。

お問い合わせ：大竹市地域包括支援センター TEL (0827)53-1165

おおたけ ししょう

しゃ そうだん し えん

大竹市障がい者相談支援センター

市制施行70周年記念事業

障がい児・者 『みんなのスポーツ体験』

～～ だれでも楽しめるスポーツ体験です ～～

いろいろなスポーツを体験して、「挑戦する心」「あきらめない心」を養おう！
 障がい者・障がい児のみなさん、スポーツを通し楽しい時間を過ごしましょう！！
 多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時** 令和6年7月21日(日)
 受付:12:30～
 開会:13:00～ 閉会:16:00
- 場所** ギャラリーおおたけ(市立図書館2階)
- 内容** ①ストラックアウト ②輪投げ
 ③フライングディスク
 ④ピンボウリング ⑤玉入れ
 ⑥モルック など
- 対象者** 市内在住の障がい児・者とその家族
参加費 無料

- 主催** 大竹市総合型地域スポーツクラブ
 社会福祉法人 大竹市社会福祉協議会
- 共催** 大竹市教育委員会
- 申込み** 7月5日(金)までに大竹市社会福祉協議会に連絡ください。
 その際に、お名前、参加人数をお知らせください。
- ※飲み物はご自分で準備をし、動きやすい服装で参加ください。



お問い合わせ・ご相談

〒739-0603

大竹市西栄2-4-1 (大竹市総合福祉センター サントピア大竹 1階 地域福祉課)

FAX:53-8122 MAIL: soudan@otake-shakyo.or.jp

TEL (0827)52-0167

「優男」からごあいさつ



昨年度も大竹市社会福祉協議会のPR番組、『優男がゆく』の放送に伴い、取材等のご協力をいただきまして、ありがとうございました。

今年度もケーブルテレビ「ちゅピCOM」と「YouTube」を通じて、大竹市の地域や福祉活動等の情報を発信します。どうぞよろしくお願いたします。

右のQRコードを読み取ると、
YouTubeで視聴が可能です。



大竹さつき作業所(ぷらっとほーむ)

喫茶「茶つき」^さ価格改定についてのお知らせ

いつも「茶つき」をご利用いただき、ありがとうございます。

この度、原材料費の高騰により、やむなく値上げをさせていただくことになりました。

令和6年7月より

	現行	⇒	改定後
・コーヒー、ミックスジュース	200円	⇒	250円
・紅茶、ジュース類	100円	⇒	150円

お得なチケット 250円券(6枚つづり)⇒1250円
もあります。 150円券(6枚つづり)⇒750円

場所 サントピア大竹 1階

営業時間 平日 10時～15時(ラストオーダー14時30分)

みんなで頑張っておいしい飲み物を準備しています。

サントピア大竹にお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。



就労継続支援B型事業所 大竹さつき作業所 就労継続支援B型事業所 アイビー作業所
TEL (0827) 57-3935 TEL (0827) 35-6655

〒739-0624 大竹市御園2丁目11-15 FAX: (0827) 35-5758 (共通)



「鉄っちゃんの会」開催

大竹市内で「鉄道」が好きな方が鉄道について語り合える場「鉄っちゃんの会」を開催いたします！

大人・子ども問わず、鉄道について語り合い、楽しみましょう！



令和6年7月31日(水) 13:30~15:00

場所 大竹市総合福祉センター「サントピア大竹」 2階会議室

参加費 無料

内容 「鉄道」をテーマにした交流会

※お気に入りの写真やグッズなどを持ち寄って語り合うことも可能です！

問い合わせ 大竹市社会福祉協議会 地域福祉係
TEL:(0827)52-2275



★ おおたけ和紙の里を訪れて ★

若葉会のメンバー十二名で「手すき和紙の里」を訪れました。

大竹の和紙づくりは江戸時代より始まったといわれ多い時は千軒もの製紙家があったとか。山間地がコウゾの栽培に適しており、小瀬川の豊かな水に恵まれ発展したそうです。

今は洋紙におされ、保存会のみで生産しているそうです。

工程を見学することは出来ませんでしたがいろいろな道具機具を見て想像しました。

大竹の和紙で作られた手描き鯉のぼりは、とても綺麗な勇ましい姿で貴重な品だと実感しました。

紙すき体験として和紙の葉書に挑戦したメンバーもいました。

手間のかかる和紙づくりですが、長くこの伝統が受け継がれることを願いながら緑豊かな里を後にしました。その後大竹市総合福祉センターにて昼食後、句会を開きました。

障害者の方の働いておられる「茶つき」のコーヒーをいただきました。笑顔がとても素敵でした。



おおたけ和紙の里 吟行

令和六年四月十七日

紙つくる工房しんと春の闇

(さき枝)

草原に野蒜一本見得を切り

(美作子)

風光る葉書二枚を漉く一日

(ヒロミ)

やはらかき新芽に山のつながれり

(万里子)

窓あけて招き入れたり春の風

(富士子)

山際に和紙の里あり風光る

(いづみ)

葉桜の校舎の窓に「あり・が・と・う」

(一江)

春の日も漉き込み紙のかがやけり

(みち子)

神々の木の芽に存す紙の里

(浩一)

春うららゆつくり手押し車押す

(正子)

咲き終わり三椏の花なほ香る

(ケイコ)

九九使ひ三椏の花数へけり

(芳子)

13:30 巡回よろず相談所



4月 三ツ石地区で開催!!

皆さんがお住まいの地域に専門職が出向き、ミニ講座や相談会を月1~2回行っています。専門職も地域の実情などを知る、とてもよい機会になっています。

7月は
御園台、立戸で
開催します。

15:00 個人宅訪問

毎日、ご本人やご家族、民生委員、医療機関など様々な方からのご相談を受けています。ご相談を受けたら、ご自宅を訪問するなどして、ご様子や困り事等を確認し、これからどうしていくか一緒に考えていきます。



ご自宅でゆっくりお話をうかがいます!

16:00 様々な機関との連携

ご本人の生活をサポートしていくためには地域包括支援センターだけでなく、介護事業所や地域の方など様々な人や機関の力も欠かせません。話し合いをしたり、必要な情報を共有するなどして、サポート体制を築いています。



本人を交えた情報共有の会議



不安や困り事があるけどどこに相談したらいいかわからない...

そんな時はお気軽に地域包括支援センターへご相談下さい!!

次回(11月掲載予定)は施設部門に密着予定です。お楽しみに!!

問い合わせ先 大竹市地域包括支援センター TEL(0827)53-1165

プロジェクト
 ~社協マンたちの挑戦~

密着!! 24時

社協ワーカーの1日

~大竹市地域包括支援センター 編~

皆さんは、大竹市社会福祉協議会(社協)をご存知ですか？

前回3月号では地域福祉部門の職員の1日をご紹介しました。今回は、地域包括支援センターのある1日に密着しました!!

8:30 朝のミーティング

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口で、主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士の三職種が配置されています。職員がそろそろ朝一番に相談内容の共有や対応の検討など行い、チームで対応できるようにしています。



10:00 権利擁護 啓発活動



消費者被害防止のお話(元町)

高齢になって判断力が低下したり、できていたことが難しくなったとしても、自分の思いを大切に自分らしく生活していけるように、住民の皆さんに対し、消費者被害防止、成年後見制度など講座を行っています。



11:00 いきいき百歳体操

年齢を重ねても元気でいきいきとした生活を送るために、百歳体操に参加される方がどんどん増えています。集会所や、ゆめタウンなど百歳体操を行う会場に定期的に保健師がうかがって、体操指導なども行っています。

新しくグループを立ちあげたいという方の支援もしています。



子育てサロン「すこやか」

子育て中のお母さんたちと一緒に過ごして、おしゃべりしませんか？

日 時 毎週水曜日 10:00~12:00

場 所 サントピア大竹2F和室

対 象 子育て中のお母さんと乳幼児

8月の水曜日はプール遊びを予定しています

8月7日・21日・28日

※悪天候などによりやむを得ず中止する場合があります。

水着・タオル・飲み物を持って遊びにきてね



親・子・地域を結ぶ

子育て支援活動をしている

ボランティアグループ「あそび」のキャリアコンサルタントの方が、毎月第3水曜日

10:30~12:00に来てください。

ちょっとした出来事や、モヤモヤなどを話してリフレッシュ♪

お問い合わせ

地域福祉係

☎(0827)52-2275

夏

まなあそまつり

第2弾!!

3月に好評であった「まなあそまつり」の第2弾として、夏やすみも開催いたします。

日 時 令和6年8月18日(日) 10:30~14:00

場 所 大竹会館(アゼリアおおたけ)2階 大集会室

対象者 乳幼児・親子

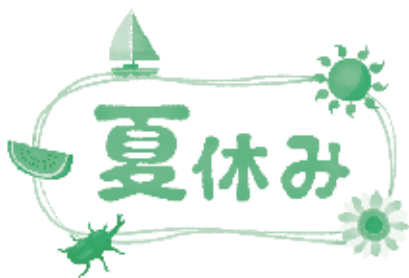
ブース ウォーターぷにぷにづくり、キッズネイル、ハンドメイド品販売など

「まなあそ」について

親子で楽しくまなべる、あそべるがテーマ

今回もまつりとし、さまざまなブースを出展予定です

問い合わせ 地域福祉係 TEL:(0827)52-2275



「宿題はようおわらそうかい」 今年も開催！！

昨年実施した「宿題はようおわらそうかい」を今年も「西念寺」と「玖波公民館」で開催します！

西念寺

日にち 7月24日(水) 10:00~12:00
 場所 西念寺(小方2-10-3)
 対象 小方2丁目地区や他の地区からの参加もできます



玖波

日にち 7月23日(火) 9:00~12:00
 場所 玖波公民館
 対象 玖波地区の児童



問い合わせ 地域福祉係 TEL : (0827)52-2275

相互援助活動サービス

ファミリー・サポート・センター事業 協力会員さんを募集しています!!

子育ての経験を
活かしてみたい

困っている人の役に
立ちたい

空いた時間に挑
戦してみたい



協力会員 (協力できる方)
【報酬】 800円/時間 (令和6年度改定)

活動時間：午前8時～午後8時(祝日および12/29～1/3を除く)
活動内容：主に育児支援(保育施設への送り迎え・子どもの預かりなど)



QRコードを読み取ると、ちゅピCOM番組
「優男がゆく」の「ファミサポってナニ？」の放送回が視聴可能です

問い合わせ 地域福祉係 TEL : (0827)52-2275

- ◆**さつき作業所指定寄付として**
- 金一封 匿名
《合計金額 10件 22万3千円》
- ◆**一般寄付**
- 金一封 匿名
匿名 東南アジアの子供を
就学させるため
- ◆**香典返しにかえて**
- 金一封 妻 みすず 田淵信孝 本町1
〃 長男 裕義 松井千枝子 油見2
〃 妻 香里 森本慶治 南栄1
〃 母 須美枝 末弘達男 立戸3
〃 夫 忠明 伊藤香子 西栄1
〃 母 静子 竹内牧子 小方1
〃 匿名

**あたたかいご寄付
ありがとうございます**

令和6年4月1日から
令和6年5月31日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、ご芳名を掲載させていただきます。また、ご芳名とともに、謹んで厚くお礼申し上げます。(敬称略)

※金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

熱中症対策

熱中症に注意!!
夏は暑いので、水分が不足しがちです。
水分をこまめに摂りましょう。

1日に1200m l (1.2L) 程度の摂取が目安!!
一度に1200m l では意味がなく、8回くらいに分けて (150m l ずつ) 摂取が望ましい

起床時 → 朝食時 → 10時頃 → 昼食時 → 15時頃 →
夕食 → 入浴前後 → 就寝前

このサイクルを目安に摂取するのが理想です!

学 習 会

事業名	とき	時間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～20時30分
手話「ママとKAMEの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～9時30分～11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～15時00分

定 例 的 な 事 業

事業名	とき	時間	内容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
子育て相談	毎月第3水曜日	10時30分～12時00分	キャリアコンサルタントがワークライフバランスについてお話を伺います。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	第2、4水曜日	10時00分～15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
サークル「青空」	毎月第1木曜日	10時00分～12時00分	心の病気をお持ちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分～14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援定例会	毎月第4火曜日	10時00分～11時30分	ひきこもりについての情報交換、つながりの場です。
つどいの広場	毎月一回	16時00分～20時00分	小中高生が対象のつどいです。夕食の提供があります。

相 談 窓 口

事業名	とき	時間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日 8月は8日の木曜日	13時00分～16時00分
よりそいサポートセンター	月～金(祝日休み)	9時00分～17時00分
障がい者相談支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分
地域包括支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分



民児協だより

第54号

大竹市民生委員児童委員協議会

大竹市西栄2丁目4-1
TEL 52-2235

令和6年度大竹市民児協定期総会

5月24日(金)「アゼリアおおたけ」において、令和6年度大竹市民児協定期総会が委員52名の出席のもと行われました。

今年度は、大竹市と大竹市民児協ともに70周年の節目の年にあたります。これまでの歩みや活動の原点に思いを馳せながら、「常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助に向けて、関係機関につなぐ」という委員活動の基本を確認しました。

私たちは、引き続き「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に向けて、大竹市、大竹市社協等の関係機関と緊密に連携して、大竹市の特性を踏まえた取り組みを一層推進してまいります。



民生委員・児童委員の日

民生委員制度は、大正6年5月12日、岡山県で誕生した「済世顧問制度」から始まりました。そのため、5月12日を「民生委員・児童委員の日」と定め、その日から1週間、民生委員・児童委員を身近に感じていただくための取り組みが全国各地で行われています。

大竹市では、今年度も児童生徒さんの健やかな成長を願い、登校時のあいさつ活動を行いました。ご対応くださった小中学校の皆様方には、お礼申し上げます。

○5月13日

大竹小・中学校前
玖波小・中学校前

○5月13日～17日

小方学園前



玖波小学校前



大竹小学校前



小方学園前

主任児童委員視察研修

3月11日(月)、尾道市美ノ郷町にある児童養護施設「子供の家 三美(さんび)園」を訪問しました。

2024年2月1日現在、幼児から高校生まで合わせて66名(定員96名)の子どもたちがここで生活しています。戦後は戦争孤児がほとんどでしたが、現在は親からの虐待を受けている子が多いとのこと。親と生活できないのは「自分が悪いからなんだ」と思い、SOSを言えない子が多く、心理士、医師など多くの専門職などがサポートしています。心身ともに安定



した環境の中で、一人ひとりが「かけがえのない人格的存在」であること目指し、人間に対する信頼関係を構築しながら児童一人ひとりが社会へ自立していくための総合的な生活能力を育てています。

職員と一緒にキッチンに立ったり、自分で洗濯が出来るなど、生活環境は整備されています。子どもたちには、楽しみな行事「わいわいこども祭り」や「カープ観戦」、「ハロウィーン行事」などいろいろあります。中でも、尾道みなと祭りの「ええじゃんSAN S.A.がり」踊りコンテストに毎年参加して、賞をもらっているそうです。

親と生活できると判断され帰宅するケースもありますが、再び施設に戻ってくる子もいます。多くの子は退園後、自立して就職します。人間関係がうまく行かず施設に戻ってきて、アフターケアが必要な子も増えているそうです。今回の視察を通して、児童養護施設での生活やそこで暮らす子どもたちの様子もよくわかりました。施設やスタッフがどんなに

良くても、子どもたちにとっては親と幸せに暮らすのが一番です。私たちは身近で悩んだり困っている親子に早く気づき、話を聞き、関係機関に繋いでいけるよう、これからも見守りを続けていきたいと思っています。



『ごんにちは赤ちゃん訪問』

4月30日(火)、主任児童委員2人で小方地区の丸本朱音(あかね)ちゃん(12月生まれ)の女の子を訪問しました。声をかけるとニコニコして、かわいい赤ちゃんでした。

「お兄ちゃんの時は初めての子育てに戸惑いもありましたが、今回は大丈夫そうです。元気に育ってほしい、それが一番です」と話されていました。隣がご主人の実家で心強いとのことでした。

